



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東  
 コード番号 3747 URL http://www.itrade.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 丸山 與一 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( — )

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,491	△12.3	△375	—	△375	—	△246	—
28年9月期第3四半期	1,700	△7.1	△47	—	△44	—	△48	—

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 △266百万円( —%) 28年9月期第3四半期 △59百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	△34.32	—
28年9月期第3四半期	△6.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	1,881	1,488	79.1
28年9月期	2,199	1,755	79.8

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,488百万円 28年9月期 1,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,033	△13.8	△410	—	△410	—	△280	—	△38.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	7,444,800株	28年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	259,200株	28年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	7,185,600株	28年9月期3Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」、機能性食材であるハナビラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」及び自己資金を運用する「自己資金運用事業」の4つです。

当第3四半期連結累計期間（以下、当第3四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	平成28年9月期 (前第3四半期)		平成29年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,700	100.0	1,491	100.0	87.7
金融ソリューション事業	1,415	83.3	1,129	75.7	79.8
ビジネスソリューション事業	123	7.3	153	10.3	123.6
ヘルスケア事業	160	9.4	207	13.9	129.0
自己資金運用事業	0	0.0	1	0.1	368.6
営業損失(△)	△47	—	△375	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	—	△246	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第3四半期における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が見られ景気は緩やかな回復基調にありました。一方で海外経済は米国新政権の政策動向や地政学的リスク、新興国の景気減速などがあり先行き不透明な状況です。

このような状況下において当第3四半期の業績は、売上面ではビジネスソリューション事業及びヘルスケア事業で増収となったものの、金融ソリューション事業で大顧客の解約の影響により大幅な減収となりました。利益面では金融ソリューション事業の減収による影響が大きく、またヘルスケア事業における棚卸資産の評価減及びバングラデシュ人民共和国でのハナビラタケ製剤化に向けた先行投資を行った結果、前年同期より悪化し営業損失は375百万円となり、投資有価証券の一部を売却し投資有価証券売却益139百万円を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失は246百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	1,129百万円	(前年同期比 79.8%)
セグメント利益	246百万円	(前年同期比 62.0%)

## &lt;製品区分別&gt;

	平成28年9月期 (前第3四半期)		平成29年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	957	67.6	748	66.2	78.2
取引所端末	191	13.5	208	18.5	109.2
外国為替証拠金システム	108	7.6	105	9.3	94.6
取引所関連システム	129	9.2	41	3.7	31.8
その他	29	2.1	25	2.3	87.3
合計	1,415	100.0	1,129	100.0	79.8

## &lt;売上区分別&gt;

	平成28年9月期 (前第3四半期)		平成29年9月期 (当第3四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	53	3.8	6	0.6	12.1
システムインテグレーション売上	60	4.3	41	3.7	68.5
ライセンスビジネス売上	881	62.3	802	71.0	91.0
カスタマーサポート売上	419	29.6	279	24.7	66.5
合 計	1,415	100.0	1,129	100.0	79.8

当第3四半期においては、製品区分別で前年同期に比べて取引所端末の売上増加があったものの、証券ディーリングシステム及び取引所関連システムにおいて取引額が大きい顧客の解約の影響が大きく、売上高が減少する結果となりました。一方利益面は、前期より継続してコスト削減を行ったものの、売上高減少分を補うには至らずセグメント利益は前年同期より減益となりました。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 153百万円 (前年同期比 123.6%)

セグメント損失 49百万円 (前年同期は59百万円のセグメント損失)

自社開発の経営統合管理プラットフォーム「GroupMAN@IT e<sup>2</sup>」において、既存ユーザーから追加受注を獲得し、サポートセンターにおいても複数社から受注した結果、売上高は前年同期比123.6%の153百万円となり、セグメント損失も若干改善しました。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は、当社、株式会社らぼおぐ及び株式会社健康プラザパルの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 207百万円 (前年同期比 129.0%)

セグメント損失 304百万円 (前年同期は147百万円のセグメント損失)

ヘルスケア事業セグメントにおいては、引き続きハナビラタケ製品の販売に注力しております。当第3四半期において、ラオックス株式会社の化粧品美容専門エリア、ジャパン・コスメ・ラウンジに当社化粧品が採用されインバウンド向けの販売を強化し、ハナビラタケ商品の販売拡大に注力した結果、売上高は前年同期比129.0%の207百万円となりました。

一方損益面は、共同研究やバングラデシュ人民共和国でのハナビラタケ製剤化に向けた研究開発費を含む先行投資額が前年同期より増加したこと、また原料販売が当初計画通りに進捗しなかったことにより、当第3四半期において原料在庫の評価減を行ったことが影響し、セグメント損失が増加しました。

## (自己資金運用事業)

自己資金運用事業は、株式会社トレーデクスの事業です。

当第3四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 1百万円 (前年同期比 368.6%)

セグメント損失 32百万円 (前年同期は2百万円のセグメント損失)

投資教育事業として、個人投資家向け投資セミナーの開催やTokyoMXで「TRADEX マーケット・アングル」の番組提供を行っています。当第3四半期は、32百万円のセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ317百万円減少し、1,881百万円となりました。自己資本比率は79.1%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は443.5%であり、安定性の高い財務体質となっています。

（資産）

総資産合計1,881百万円のうち、現金及び預金が1,201百万円（構成比63.8%）を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金173百万円（構成比9.2%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）156百万円（構成比8.3%）、投資有価証券81百万円（構成比4.3%）となっています。

（負債）

負債合計392百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が242百万円（負債及び純資産に対する構成比12.9%）を占めています。

（純資産）

純資産合計1,488百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△688百万円、自己株式△95百万円等となっています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成28年11月11日に公表いたしました平成29年9月期（平成28年10月1日～平成29年9月30日）の通期業績予想を修正いたしました。詳細は、同日に発表いたしました「平成29年9月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,230,551	1,201,391
受取手形及び売掛金	271,072	173,959
有価証券	100,783	—
商品及び製品	80,104	39,447
仕掛品	69,060	103,780
原材料及び貯蔵品	13,278	13,570
繰延税金資産	6,400	—
その他	84,323	102,635
貸倒引当金	△11,932	△11,963
流動資産合計	1,843,643	1,622,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,190	15,802
工具、器具及び備品（純額）	31,359	24,611
有形固定資産合計	49,549	40,413
無形固定資産		
のれん	4,591	1,147
ソフトウェア	13,967	12,735
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	19,807	15,131
投資その他の資産		
投資有価証券	160,945	81,577
その他	125,309	121,752
投資その他の資産合計	286,254	203,329
固定資産合計	355,611	258,874
資産合計	2,199,254	1,881,697



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	82,692	60,245
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	80,736	62,428
リース債務	1,862	1,410
未払法人税等	16,264	1,009
受注損失引当金	—	20,000
その他	89,686	65,051
流動負債合計	371,241	310,145
固定負債		
長期借入金	68,993	79,729
リース債務	1,048	26
退職給付に係る負債	2,062	2,819
固定負債合計	72,103	82,575
負債合計	443,345	392,720
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△442,345	△688,951
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,735,321	1,488,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,300	—
その他の包括利益累計額合計	20,300	—
新株予約権	287	262
純資産合計	1,755,909	1,488,976
負債純資産合計	2,199,254	1,881,697

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,700,756	1,491,670
売上原価	1,077,476	1,135,850
売上総利益	623,280	355,819
販売費及び一般管理費	670,465	731,773
営業損失(△)	△47,185	△375,954
営業外収益		
受取利息	376	22
受取配当金	5,765	1,153
助成金収入	—	1,022
その他	397	132
営業外収益合計	6,539	2,331
営業外費用		
支払利息	3,799	2,252
その他	54	6
営業外費用合計	3,854	2,259
経常損失(△)	△44,500	△375,882
特別利益		
新株予約権戻入益	—	25
投資有価証券売却益	82	139,547
違約金収入	1,500	—
特別利益合計	1,582	139,572
特別損失		
固定資産除売却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,935	△236,309
法人税、住民税及び事業税	5,936	3,897
法人税等調整額	—	6,400
法人税等合計	5,936	10,297
四半期純損失(△)	△48,871	△246,606
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,871	△246,606

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△48,871	△246,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,400	△20,300
その他の包括利益合計	△10,400	△20,300
四半期包括利益	△59,271	△266,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,271	△266,906
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリ ーション事 業	ビジネスソ リューショ ン事業	ヘルスケア 事業	自己資金 運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,415,686	123,970	160,560	539	1,700,756	—	1,700,756
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,250	39	—	2,289	△2,289	—
計	1,415,686	126,220	160,599	539	1,703,045	△2,289	1,700,756
セグメント利益又は損失 (△)	397,386	△59,294	△147,109	△2,485	188,496	△235,681	△47,185

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△235,681千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリ ーション事 業	ビジネスソ リューショ ン事業	ヘルスケア 事業	自己資金 運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,129,433	153,190	207,056	1,989	1,491,670	—	1,491,670
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,250	91	—	2,341	△2,341	—
計	1,129,433	155,440	207,147	1,989	1,494,011	△2,341	1,491,670
セグメント利益又は損失 (△)	246,474	△49,905	△304,233	△32,317	△139,982	△235,971	△375,954

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△235,971千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。